

# 米づくり情報 (NO. 11)

令和3年8月24日

伊万里・西松浦地区農業技術者連絡会作物部会

## 1 気象概況 (アメダス観測地：伊万里)

月	半旬	平均気温		最高気温		最低気温		降水量		日照時間	
		平年値 ℃	本年値 ℃	平年値 ℃	本年値 ℃	平年値 ℃	本年値 ℃	平年値 mm	本年値 mm	平年値 時間	本年値 時間
8月	2	27.8	27.3	32.5	31.6	24.2	23.0	38.7	94.5	33.4	26.3
	3	27.5	23.8	32.2	26.6	24.1	22.1	44.0	679.5	30.8	3.5
	4	27.1	23.8	31.7	27.1	23.7	21.5	46.2	146.0	28.9	11.4
	5	26.6	—	31.2	—	23.1	—	46.9	—	28.0	—
	6	26.0	—	30.6	—	22.5	—	55.9	—	32.6	—
9月	1	25.3	—	29.8	—	21.8	—	42.9	—	26.5	—

【8月2～4半旬の気象概況】

- 1) 平均気温は、2半旬までは平年並みであったものの、3～4半旬にかけて平年より約3.3～3.7℃低く推移した。
- 2) 日照時間は、2半旬は平年の79%であったが、3～4半旬では平年の46%と少なかった。
- 3) 降水量は、2～4半旬にかけて平年の714%となっている。特に8月11日から14日では、約680mmの豪雨に見舞われた。その後もまとまった降雨が続き、8/23時点で平年の8月総雨量の約4倍の雨量となっている。

## 2 生育状況 (8月24日)

項目 品種(設置場所)	年次	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	主稈 出葉数L	葉色 SPAD	概要
夢しずく 6/2 移植 東山代町脇野	本年値	出穂期 8月6日				・平年より約1日遅い出穂
	平年値	出穂期 8月5日				
	平年比	—				
ヒノヒカリ 6/20 移植 松浦町桃川	本年値	93.5	455	14.1 (止)	34.0	・草丈は、平年並み ・茎数は、平年より多い ・主幹出葉数は、平年よりやや少ない ・葉色は、平年より濃い ・出穂走り
	平年値	91.1	374	14.8	28.6	
	平年比	103	122	-0.7	+5.4	
たんぼの夢 6/15 移植 松浦町桃川	本年値	83.2	405	14.2 (止)	38.4	・草丈は、平年並み ・茎数は、平年並み ・主幹出葉数は、平年並み ・葉色は、平年よりやや濃い ・出穂走り
	平年値	80.3	408	14.0	37.7	
	平年比	104	99	+0.2	+0.7	

※夢しずくの耕種概要は稲作情報 No.1、ヒノヒカリ・たんぼの夢の耕種概要は稲作情報 No.3 を参照。

### 3 今後の管理

#### 1) 山間早植え水稻（5月上旬移植）

- ・まもなく収穫期を迎える。
- ・収穫 1 週間前までの間断灌水により子実の充実確保に努める。

#### 2) 普通期水稻「夢しずく」

##### 【6月上旬移植】

- ・糊熟期を迎えている。
- ・収穫 1 週間前までの間断灌水により子実の充実確保に努める。

##### 【6月中旬移植】

- ・乳熟期を迎えている。
- ・カメムシの防除を徹底するとともに、収穫1週間前までの間断灌水により子実の充実確保に努める。

#### 3) 普通期水稻「たんぼの夢」、「ヒノヒカリ」等

- ・間もなく出穂期を迎える。
- ・穂孕み期から穂揃い期にかけては、イネの用水要求度が最も高い時期であるため、水が切れることがないように湛水管理を徹底する。ただし、大雨が続く場合は、水尻を低く保つ。
- ・この時期は強風による蒸散の影響を最も受けやすいため、台風の接近等が予想された場合には可能な限り深水とし、強風による葉先の裂傷や籾擦れなどの被害を緩和するよう努める。

《参考》出穂期の平年値

品種	移植日	出穂期	幼穂形成期（1 mm～15 mm） 穂肥施用時期目安
夢しずく	5月28日	8月5日	7月10日～18日
ヒノヒカリ	6月20日	8月27日	8月1日～9日
たんぼの夢	6月19日	8月30日	8月4日～12日

#### 4) 共通

##### ○主な病害虫の防除適期

病害虫名	稲のステージ 出穂前後日数	防除適期								
		-15	-10	-5	0	+5	+10	+15	+20	
紋枯病	並発生の場合 多発生の場合	←→				←→				
穂いもち	並発生の場合 多発生の場合			←→		←→				
カメムシ類	並発生の場合 多発生の場合					←→		←→		

図3 紋枯病、穂いもち、カメムシ類の防除適期

## ①いもち病

- 8/16～19 にかけていもち病の感染好適条件が出現したことから、約 1 週間の潜伏期間を経た今週から、発病が増加する可能性がある。また、福岡管区気象台が 8/19 に発表した九州北部地方の 1 ヶ月予報では、向こう 1 か月は平年に比べ晴れの日が少ないと予想されており、さらなる感染増加が予想される。
- 葉いもちの発生が見られる圃場では、穂孕み期の防除を徹底する。また、発生が多いと予想される場合（上位 3 葉に病斑が確認される）は、穂揃い期にも防除を実施する。

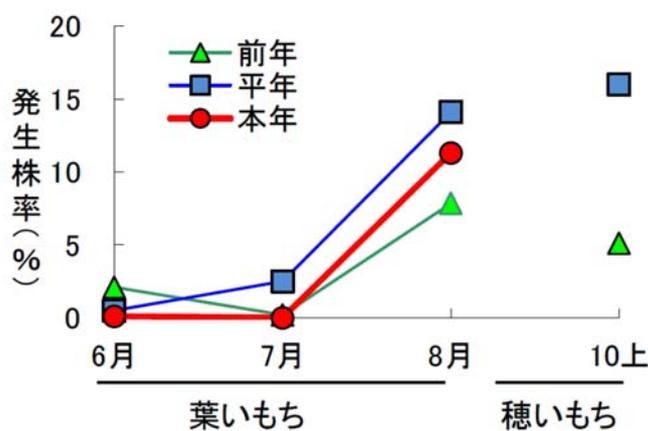


図1 普通期水稻におけるいもち病の発生

(※農業技術防除センター 病害虫対策資料第 8 号 令和 3 年 8 月 23 日より)

## ②ウンカ類

- トビイロウンカの 8/16 までの飛来状況は、p 4 の通りである。この飛来波の発生予測は p 5 の通りである（発生予測図は 8 月 17 日更新第 5 版）。前回までの飛来波に加え、新たに 8/14～15 頃に新たな飛来が確認されている。
- 早期・早植え水稻においては、引き続き 7/4、7/9 飛来波頃の飛来虫を主要な防除対象とする。
- 中晩生品種は、8/14 飛来波の第二世代幼虫が増殖すると水稻に対する吸汁被害が拡大する可能性があることから、発生状況に注意し、必要に応じて防除を行う。

【普及センター、ウンカ類調査結果（20 株はらい落とし）】

（調査日：8/24）

品種	地域	移植日	トビイロウンカ		セジロウンカ		ヒメトビウンカ	
			成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫
夢しずく	東山代	6/2	0	0	0	0	0	0
ヒノヒカリ	松浦	6/20	0	0	1	23	1	2
たんぼの夢	松浦	6/15	0	0	0	17	0	3

※上記圃場は全てブーンゼクテラ箱粒剤を使用。

※「夢しずく」は、8/9 に基幹防除 1 回目を実施している。

※「ヒノヒカリ」、「たんぼの夢」は、7/29 に基幹防除 1 回目を実施している。

表1 イネウンカ類のトラップでの捕獲状況(2021年)

月	日	トビイロウンカ			セジロウンカ			
		佐賀市		嬉野市	佐賀市		嬉野市	
		ネット トラップ	ライト トラップ	ライト トラップ	ネット トラップ	ライト トラップ	ライト トラップ	
5月	11日	0	0	1	0	0	0	
	12日	0	0	0	0	0	0	
	13日	0	0	0	0	0	0	
	14日	0	0	0	0	0	0	
	15日	0	0	0	0	0	1	
	16日	0	0	0	0	0	0	
	17日	0	0	0	0	0	0	
	18日	0	0	0	0	0	0	
	19日	0	0	0	0	0	0	
	20日	0	0	0	0	0	0	
	21日	0	0	0	0	0	0	
	22日	0	0	0	0	1	0	
	23日	0	0	0	0	0	0	
	24日	0	0	0	0	0	0	
	25日	0	0	0	0	0	0	
	26日	0	0	0	0	0	0	
	27日	0	0	0	1	0	1	
	28日	0	0	0	1	0	0	
	29日	0	0	0	0	0	0	
	30日	0	0	0	0	0	0	
	31日	0	0	0	0	0	0	
	6月	1日	0	0	0	0	0	0
		2日	0	0	0	0	0	0
		3日	0	0	0	0	0	0
		4日	0	0	0	0	0	0
		5日	0	0	0	0	0	0
		6日	0	0	0	1	0	0
		7日	0	0	0	1	1	0
		8日	0	0	0	0	0	1
		9日	0	0	0	0	0	0
		10日	0	0	0	0	0	0
11日		0	0	0	0	0	0	
12日		0	0	0	0	0	0	
13日		0	0	0	0	0	0	
14日		0	0	0	0	0	0	
15日		0	0	0	0	0	0	
16日		0	0	0	0	0	0	
17日		0	0	0	0	0	0	
18日		0	0	0	0	0	0	
19日		0	0	0	0	0	0	
20日		0	0	0	0	1	0	
21日		0	0	0	0	0	0	
22日		0	0	0	0	0	0	
23日		0	0	0	0	0	0	
24日		0	0	0	0	0	0	
25日		0	0	0	0	0	0	
26日		0	0	0	0	0	0	
27日		0	0	0	0	0	0	
28日		0	0	0	0	0	0	
29日		0	0	0	0	0	0	
30日		0	0	0	0	0	0	

月	日	トビイロウンカ			セジロウンカ		
		佐賀市		嬉野市	佐賀市		嬉野市
		ネット トラップ	ライト トラップ	ライト トラップ	ネット トラップ	ライト トラップ	ライト トラップ
7月	1日	0	0	0	1	0	0
	2日	0	0	0	0	0	0
	3日	0	-	0	1	-	0
	4日	1	-	0	0	-	0
	5日	0	-	0	0	-	0
	6日	0	-	0	0	-	1
	7日	0	0	0	1	0	0
	8日	0	0	3	2	3	7
	9日	0	0	2	2	16	143
	10日	0	0	0	4	8	7
	11日	0	0	0	0	0	4
	12日	0	0	3	1	27	24
	13日	0	0	1	0	2	7
	14日	0	0	0	0	1	2
	15日	0	0	0	0	0	1
	16日	0	0	0	0	3	5
	17日	0	0	0	0	1	1
	18日	0	0	0	0	32	3
	19日	0	0	0	0	0	1
	20日	0	0	0	0	0	0
	21日	0	0	0	0	0	0
	22日	0	0	0	0	1	0
	23日	0	0	0	0	0	0
	24日	0	0	0	0	0	0
	25日	0	0	0	0	1	0
	26日	0	0	0	1	1	0
	27日	0	0	0	0	2	0
	28日	0	0	0	2	0	0
	29日	0	0	0	0	4	0
	30日	0	0	0	0	18	0
	31日	0	0	0	1	8	1
8月	1日	0	0	0	0	18	3
	2日	0	0	0	0	4	0
	3日	0	0	0	0	2	1
	4日	0	0	0	0	0	1
	5日	0	0	0	0	0	1
	6日	0	0	0	0	0	0
	7日	0	0	0	0	0	3
	8日	欠測	0	0	欠測	0	0
	9日	0	0	0	0	0	0
	10日	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	2	0	0	1	
12日	0	0	1	0	0	1	
13日	0	0	0	0	0	1	
14日	0	0	87	0	0	165	
15日	0	0	25	1	1	157	
16日			0			9	
17日							
18日							
19日							
20日							

新たな飛来あり

注)佐賀市のネットトラップとライトトラップ(予察灯)は、農業試験研究センターで調査。嬉野市のライトトラップ(予察灯)は農業技術防除センターで調査。

# トビイロウンカ各世代の発生予測（2021年8月17日作成）

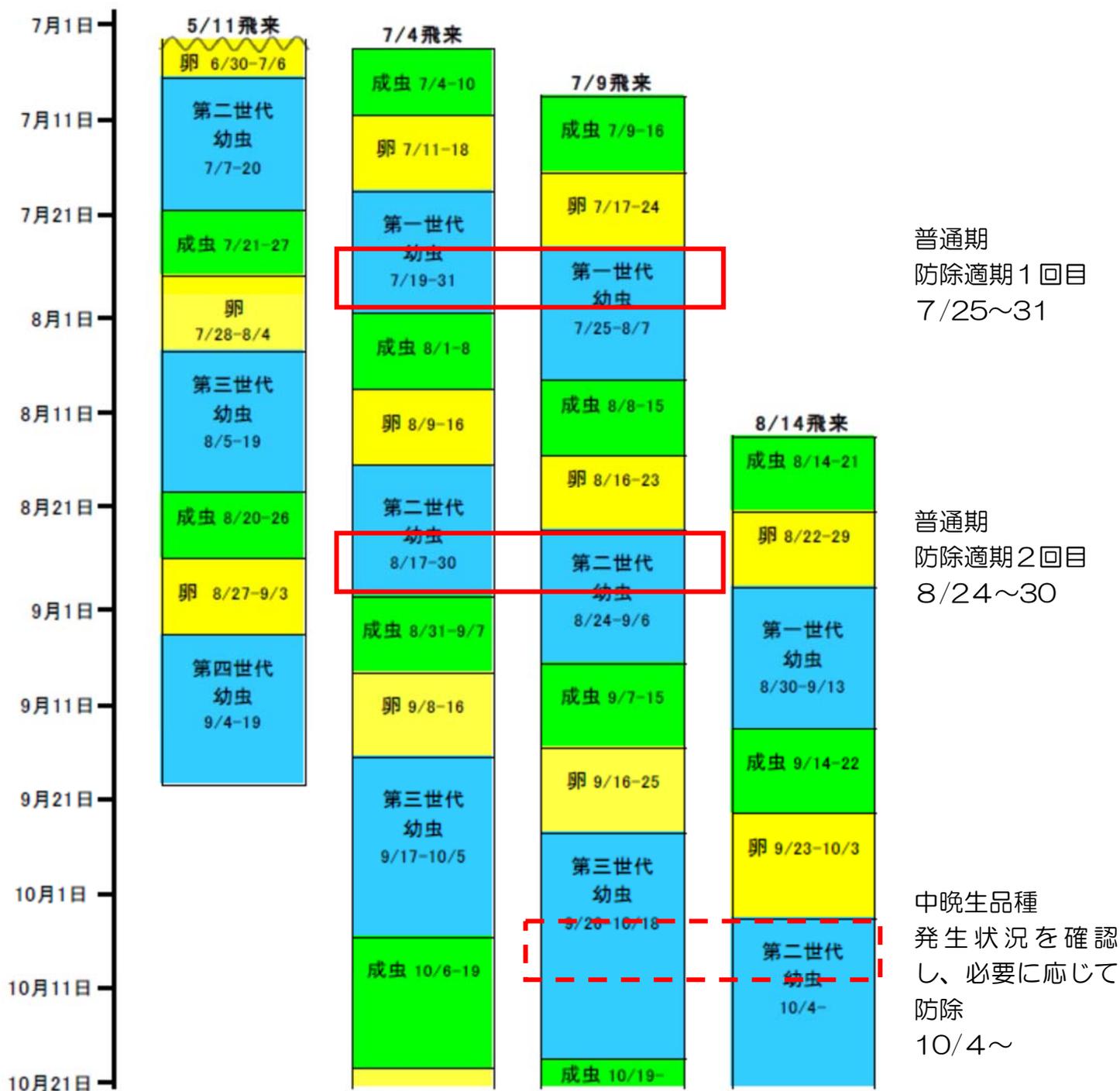


図1 トビイロウンカ各世代の発生予測（第5版、2021年8月17日作成）

1. 5月11日頃、7月3~4日頃（図では7月4日）、7月8~12日頃（図では7月9日）、8月14~15日頃（図では8月14日）の飛来虫を起点とし、佐賀市川副町の気温データより算出した有効積算温度（8月17日以降は平年値）を基に作成した。
2. 田植え時期、品種、地域およびこれまでの防除の違い等によって、本虫の発生量は異なるので、必ず圃場ごとの発生状況を確認したうえで、防除対策を講じる。
3. 早植え・普通期水稲においては、引き続き7月3~4日頃、7月8~12日頃の飛来虫を主要な防除対象とする。
4. 8月14~15日頃の飛来虫に関しては、中晩生品種を中心に、今後、二世増殖して被害を及ぼす可能性があることから、各地域での発生調査に基づき、必要に応じた臨機防除を行う。
5. 今後の気象経過等に応じて、本図は随時、更新するので、最新情報は、農業技術防除センターのホームページで確認する。

### ③コブノメイガ各世代の発生予測（2021年8月16日作成）

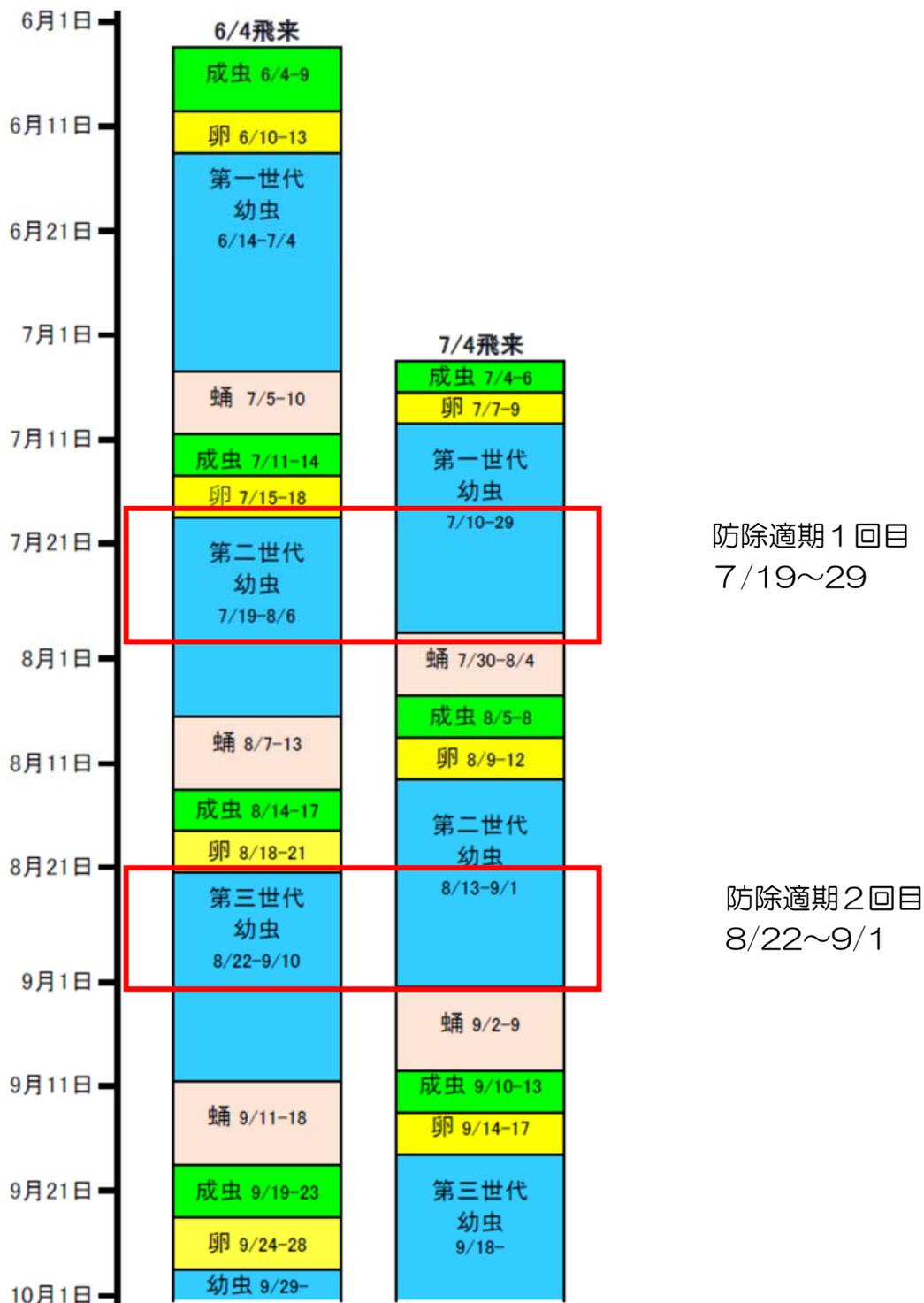


図2 コブノメイガ各世代の発生予測（第3版、2021年8月16日作成）

1. 6月3～4日頃（図では6月4日）、7月3～4日頃（図では7月4日）の飛来虫を起点とし、佐賀市川副町の気温データより算出した有効積算温度（第2版では7月26日以降は平年値、第3版では8月16日以降は平年値）を基に作成した。その結果、第3版は第2版に比べ、各飛来虫のその後の予測発生時期は、0～1日遅くなった。

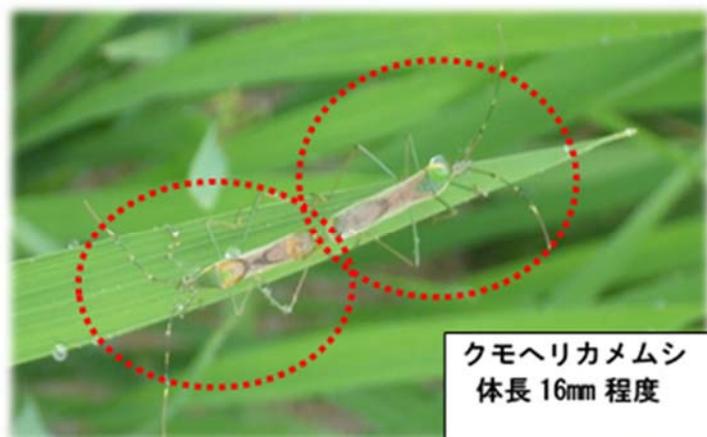
2. 田植え時期、品種、地域およびこれまでの防除の違い等によって、本虫の発生量は異なるので、必ず圃場ごとの発生状況を確認したうえで、防除対策を講じる。

3. 今後の気象経過等に応じて、本図は随時、更新するので、最新情報は、農業技術防除センターのホームページで確認する。

#### ④カメムシ類

- 耕種的防除として、**出穂 10 日前までには必ず畦畔の草刈りを終える**。ノビエ等の大型雑草が圃場内に発生している場合は、速やかに除去しカメムシの生息場所を無くす。出穂後に行うとカメムシ類が圃場に侵入し、被害を助長する。
- 薬剤防除としては、乳熟期（出揃い期の約 10 日後）の防除を徹底して、斑点米の被害防止を図る。発生が多い圃場では穂揃い期（出穂期の約 5 日頃）と乳熟期の 2 回防除を実施する。

★多発生の目安 ⇒ 20 回のすくいとり調査でカメムシが 5 頭以上の場合



#### ⑤紋枯病・稲こうじ病

- 紋枯病および稲こうじ病については、米づくり情報 No.9 を参照。

# 令和3年産水稻生育期間気象グラフ（アメダス：伊万里）

西松浦農業改良普及センター

